高知県工業技術センターだより

▶更新機器のご紹介

当センターでは、公益財団法人ＪＫＡの 2020 年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業により「デジタルオシロスコープ」と「原子吸光分光光度計」を更新しました。

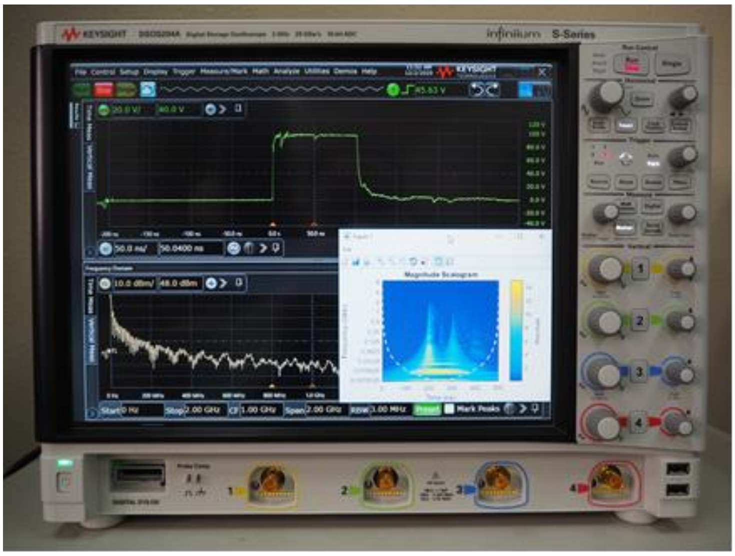
～デジタルオシロスコープ～ 生産技術課

デジタルオシロスコープは、電圧などの電気信号が時間の経過と共に変化していく様子を観測することができ、電気製品などを開発する際に、製品を構成する部品の評価や誤動作の原因特定に用いられています。

更新した装置は、周波数帯域が 2GHz に向上し、より高速な信号波形を観測できるようになったことに加え、信号が指定した領域から逸脱したかどうかを検証するマスク試験などの多様な解析機能があります。

また、電磁波ノイズ測定用途には、部品レベルで放射ノイズを簡易測定できる「近磁界プローブ」、直流の電源ライン上のノイズを測定する「パワーレールプローブ」が付属しています。

製品の試作開発や改良などに、ぜひご利用ください。詳細は、工業技術センター生産技術課（088-846-1653）まで、お問い合わせください。



デジタルオシロスコープ

KEIRIN 競輪の補助を受けて導入しました。

～原子吸光分光光度計～　　資源環境課

原子吸光分光光度計は、工業製品、食品、医療品、材料及び廃棄物等に含まれる無機成分の含有量の測定に用いられています。今回導入した機器は、フレーム法と還元気化法の２つの構成となっています。フレーム法では、Na、K、Pb、Fe、Zn、Mn、Cr、Cu 等の元素を測定することができ、水素化物発生装置を接続することによって、低濃度の As、Se、Sb 等を測定することができます。また、還元気化法は、Hg に特化しており、超低濃度の定量分析が可能です。

この装置を用いることで、製品原料や純度測定のための不純物分析、海洋深層水や産業廃棄物の管理など環境分析、食品や医薬品関連の有害物の分析、食品表示のための塩分分析及び RoHS 指令の水銀分析などが可能です。無機成分に関する品質管理や規格検査などに、ぜひご利用ください。詳細は、工業技術センター資源環境課（088-846-1651）まで、お問い合わせください。

原子吸光分光光度計
「フレーム法・水素化物発生法」

原子吸光分光光度計
「還元気化法」

KEIRIN　競輪の補助を受けて導入しました。

お気軽にお問い合わせください。
088-846-1111
受付時間　平日　8:30 ～ 17:15
高知県工業技術センター
Kochi Prefectural Industrial Technology Center